

# 地方独立行政法人 筑後市立病院 2026（第16事業年度）年度計画

## 【基本理念】

### 「生涯研修・生涯奉仕」

- 地域と連携を深め、中核病院としての機能充実をはかります。
- 生涯研修の精神で、常に自己研鑽に努め、高度な先進的・最適医療を実践します。
- 人格を尊重し、博愛と生涯奉仕の精神で信頼と安心が得られる医療を提供します。

## 【基本方針】

- 患者中心、患者第一を最優先に考えた医療を提供します。
- 地域医療のニーズを常にとらえ、変化に対応できる病院をめざします。
- 住民の健康管理に積極的に取り組み、地域連携を推進します。
- 人に尽くすことに誇りを持ち、互いに切磋琢磨しながらチームワークで医療に取り組みます。

## 第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

### 1 良質な医療の提供

#### (1) 救急医療体制の維持

- 圏域の救急医療体制の現状や課題を関係機関と共有するとともに、救急受入基準を明文化し、応援医や消防など関係機関への周知を徹底する。
- 幹部職員の救急医療への関与を継続しつつ、久留米大学医局の応援体制を安定的に維持し、病床管理機能を高めて救急確保病床の運用を確実に行う。

#### 【関連指標（成果指標）】\*1

指 標	参考値*2 (2024)	目標値*1 (2026)
救急応需率	92.4%	95.0%以上
筑後市消防本部の八女筑後医療圏内医療機関への搬送率	72.7%	68.0%以上

\*1 第4期中期計画の関連指標及び目標値を設定

\*2 2025（令和7）年度実績を基本とするが、数値が確定していないものは2024（令和6）年度実績を記載

#### (2) 患者と一体となったチーム医療の実践

- 生成 AI や視覚資料等の活用による説明支援の効率化を図るとともに、看護師等の適切な同席による患者の理解や反応の把握を徹底し、質の高い IC（インフォームド・コンセント）を通じた意思決定支援を強化する。
- 急性期から退院後まで多職種が共同で治療・リハ・退院支援を設計し、患者中心の一貫した支援体制を強化する。安全管理・栄養・感染対策・認知症ケアにおいて専門職が協働し、質と安全性を高める。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値	目標値（2026）
医師との対話、病状・治療などに関する説明の満足度（入外計）*1	4.3 点（2025）	4.0 点以上
クリニカルパス適用率*2	49.6%（2024）	40.0%以上

\*1 患者満足度調査（5段階評価）

\*2 クリニカルパス適用患者数÷新規入院患者数×100

(3) 診療機能の整備

- 小児救急等診療および産後ケア事業への協力を継続し、地域で実施可能な母子医療を模索する。
- 地域医療構想調整会議等の議論を踏まえ、当院が担うべき診療機能を整理し、それに応じた病棟・病床の在り方を検討する。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値（2024）	目標値（2026）
初診患者数	8,097 人	9,500 人以上
新規入院患者数	3,353 人	4,000 人以上
病床利用率（休床病床*1除く）	65.9%	74.0%以上

\*1 福岡県から割り当てられた新型コロナウイルス感染症患者の確保病床

(4) 地域医療機関との連携

- 逆紹介の推進とともに、地域医療機関への当院の診療機能や特徴の周知を積極的に行い、地域医療機関が当院を適切に活用できる体制を強化する。
- 医療機関や介護施設との連携を深め、患者の重症度や状態に応じた適切な転送先・受入先の選択肢を拡大することで、地域全体の医療資源の有効活用を図る。
- 近隣の医療機関と連絡を密にするとともに、在宅療養対象患者の急変時には入院受入れを行い、24時間365日対応可能な後方支援機能を維持する。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値（2024）	目標値（2026）
紹介率	72.2%	50.0%以上
逆紹介率	95.1%	70.0%以上
地域医療機関サポート率*1	63.7%	60.0%以上

\*1 全国自治体病院協議会が行っている「医療の質の向上と質の情報の公表事業」で設定された臨床指標で、二次医療圏内の医療機関のうち、患者の紹介を受けた割合。二次医療圏内で紹介を受けた医科医療機関数÷二次医療圏内医科医療機関数×100で算出。

(5) 地域包括ケアシステムの推進

- 退院前後に必要なケアや生活支援の課題を整理し、介護・福祉施設を定期的に訪問する等、連携を強化する。
- 地域包括ケア病棟において、多職種が協働して在宅復帰を早期に支援する体制を維持する。

- 訪問看護や訪問リハビリ、訪問栄養指導を含む在宅療養支援のスケジュールや管理を整備し、より多くの患者に効率的にサービスを提供できる体制を維持する。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値（2024）	目標値（2026）
在宅復帰率（急性期病棟）	91.5%	80.0%以上
在宅復帰率（地域包括ケア病棟）	82.2%	70.0%以上
訪問看護及び訪問リハビリ合計数	2,560 件	2,000 件以上

(6) 災害時における医療協力

- 災害対策委員会を中心に事業継続計画（BCP）・マニュアル整備を一体的に推進し、現場レベルまで災害対応を浸透させる。
- 災害時に必要なインフラ及び支援体制の確保に向け、市や関係機関との調整を行う。
- 新興感染症発生時の円滑な受入体制を確保するため、関係機関と連携した訓練を行う。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値（2025）	目標値（2026）
DMA T保有数	1 チーム	1 チーム
感染管理認定看護師数	2 名	2 名

2 医療機能提供体制の整備

(1) 医療スタッフの確保

- 医師確保に向け、久留米大学医局との関係維持に努めるとともに、他大学や医療機関からの医師招聘も検討し、医療水準を維持する。
- ホームページを見直し、採用情報を充実させるとともに、特定看護師や看護学生向けの情報を掲載し、マイナビ看護学生等も活用して医療スタッフ募集を強化する。
- 優秀なスタッフ確保のため、就職説明会や関係機関訪問を実施し、当院の職場環境や多職種連携の魅力を発信する。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値	目標値（2026）
医師の充足率*1	256.8%（2025）	100.0%以上
看護師の充足率*1	325.3%（2025）	100.0%以上
正規雇用看護職員の離職率*2	6.8%（2024）	10.0%以下

\*1 医療法施行規則第19条第1項第1号及び同条第2項第2号による算出

\*2 当該年度の総退職者数÷当該年度の平均職員数\*3×100

\*3 （年度初めの在籍職員数+年度末の在籍職員数）÷2

(2) 高度医療機器の計画的な更新・整備

- 高度医療機器等の更新・整備を検討する場を再整備し、費用対効果や減価償却費・借入

返済金等を踏まえた計画的な更新・整備を進め、導入後の効果検証を徹底する。

- 医療 DX の推進等に当たっては、生成 AI を含む技術動向の変化を踏まえ、効果や費用対効果を検証しつつ、財務状況と補助金の活用可能性を考慮して、計画的に取り組みを進める。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値（2024）	目標値（2026）
器械備品減価償却率* <sup>1</sup>	81.5%	80.0%以下
減価償却費率（対医業収益）* <sup>2</sup>	8.6%	7.5%以下

\*1 器械備品減価償却累計額 ÷ 償却資産のうち器械備品の帳簿原価 × 100

\*2 減価償却費（医業費用） ÷ 医業収益 × 100

(3) 就労環境の整備

- 職員満足度調査やストレスチェックの結果を分析し、就労環境の改善に活かすことで、働きがいのある職場づくりを推進する。
- 相談しやすい体制を整備・周知し、メンタルヘルス支援の選択肢を増やすとともに、職員の心理的安全性の向上に努める。
- 職員の負担軽減に向け、タスクシフト・タスクシェアの対象業務を抽出し、業務整理や必要な人員配置を進めるとともに、医療 DX 化を推進し、時間外労働時間の削減に取り組む。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値	目標値（2026）
勤務条件に関する満足度* <sup>1</sup>	3.7 点（2025）	3.0 点以上
精神的な不安に関する満足度* <sup>1</sup>	2.8 点（2025）	3.0 点以上
医師時間外労働時間数	月 30.2 時間 （2024）	月 80 時間以内

\*1 職員満足度調査（5段階評価）

3 患者サービスの向上

(1) 患者満足度の向上

- 既存調査の分析に加え、患者視点での受診導線の再点検を行い、潜在的なニーズや不満の把握に努め、待ち時間を感じさせない対策等の実施や、案内改善等を通じて、受診環境の利便性と信頼性の向上を図る。
- 接遇研修を継続し、全職員が同水準で対応できるよう指導するとともに、院内での丁寧な説明や声かけを標準化し、患者に安心感を提供する。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値（2025）	目標値（2026）
総合満足度（外来）* <sup>1</sup>	4.0 点	4.0 点以上
総合満足度（入院）* <sup>1</sup>	4.4 点	4.0 点以上

\*1 職員満足度調査（5段階評価）

## (2) 患者相談窓口の充実

- 患者満足度調査や苦情相談の分析に加え、声として上がりにくい患者・家族の負担を組織的に把握し、寄り添った相談支援の充実を図る。
- 緊急性の高い苦情や相談については、医療安全管理室・倫理委員会・地域医療支援室が迅速に連携し、早期解決に向けた対応を行う。

### 【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値 (2025)	目標値 (2026)
相談対応に関する満足度*1	4.1 点	4.0 点以上

\*1 職員満足度調査（5段階評価）

## 4 信頼性の確保

### (1) 医療安全対策の徹底

- 転倒・転落等の重点リスクに対し、関連マニュアルの遵守と安全ラウンドによる評価を徹底し、ヒヤリハット分析を通じて継続的な改善を図る。
- 入院時スクリーニングや接触予防策、環境清掃に加え、個人防護具の使用、患者隔離、保菌者管理を徹底し、デバイス管理や抗菌薬使用の点検・評価結果を改善に反映する。

### 【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値 (2024)	目標値 (2026)
レベル4以上のアクシデント件数	0 件	0 件
MRSA感染率	2.0%	2.8%以下

### (2) 法令・行動規範の遵守

- 関係法令に関する研修を計画的に実施し、全役職員への知識浸透と法令遵守意識の向上を図る。
- 個人情報保護・情報公開及び情報セキュリティに関する研修を実施し、情報漏洩の防止とデータの適切な取り扱いを徹底する。

### 【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値 (2025)	目標値 (2026)
個人情報保護研修参加率	100.0%	100.0%
コンプライアンス研修参加率	100.0%	100.0%

### (3) 市民への情報提供

- ホームページ・広報誌は定期的な更新・発行に心がけ、内容の充実を図るとともに、受診利便性に配慮した情報の適時発信に努める。
- SNS等での配信やタイムリーな情報発信を行うとともに、市民公開講座や出前講座を開催し、病院の役割や医療知識を発信する。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値（2025）	目標値（2026）
ウェブサイト・広報誌の認知度*1	2.3 点	3.0 点以上
ウェブサイト・広報誌の満足度*1	3.5 点	3.5 点以上

\*1 職員満足度調査（5段階評価）

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 法人としての運営管理体制の確立

(1) 機動的・自律的な組織マネジメントの強化

- 効率的な組織運営を支える「管理職のマネジメント力」のさらなる研鑽を図り、現場主導の改善活動を促進するための教育機会を確保する。
- 収支改善の達成を病院の目標とし、各部門・個人目標に適切に反映し、幹部・管理職が経営判断のプロセスへ主体的に参画できる体制を強化する。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値（2025）	目標値（2026）
病院理念に沿った活動への満足度*1	3.5 点	4.0 点以上

\*1 職員満足度調査（5段階評価）

(2) 継続的な業務改善の実施

- 現場主導の業務改善を進めるとともに、タスクシフトや DX 等の手法については実現可能性と効率性を検証したうえで導入を図り、業務負担の軽減と生産性向上につなげる。
- 外部環境・内部環境データを分析し、業務量やリスクの変化に応じて機動的に職員配置を行う。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値（2024）	目標値（2026）
時間外労働時間数（正規職員）	月平均 6.8 時間/人	月平均 6.0 時間/人以下

(3) 人事制度の適切な運用

- 医療需要の変化を分析し、キャリアアップに繋がる配置と非正規職員の効果的活用を組み合わせ、適正かつ柔軟な人員配置体制を確立する。
- 組織・部署・個人目標の連動を明確にし、評価者研修による基準共有を通じて評価の説明性・納得性と公平性を高める。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値（2025）	目標値（2026）
仕事の成果や能力の適正な評価に関する満足度*1	3.0 点	3.5 点以上

\*1 職員満足度調査（5段階評価）

(4) 計画的な研修体系の整備

- 年間研修計画を最適化し、院外研修で得た知識を共有して職員全体のスキル向上を図る。
- 専門医・認定看護師の資格取得を支援し、専門性向上による医療の質向上を図る。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値 (2025)	目標値 (2026)
学習や成長の機会に関する満足度*1	3.4 点	4.0 点以上

\*1 職員満足度調査（5段階評価）

### 第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

#### 1 安定した経営基盤の構築

(1) 収益の確保と費用の節減

- 診療報酬の適正な算定を徹底するとともに、地域医療機関との連携強化や療養環境の整備を進め、外来・入院患者数の増加を図る。
- 薬品・材料費、委託費、光熱水費などの変動費を中心に、使用実態の見直しと業務の効率化を進め、費用構造の最適化を推進する。
- 外部有識者の意見を踏まえ収支改善計画を更新し、実効性のある施策を着実に実行することで、経営の安定化を目指す。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値 (2024)	目標値 (2026)
経常収支比率*1	93.1%	100.0%以上
修正医業収支比率*2	86.4%	95.0%以上

\*1  $(\text{営業収益} + \text{営業外収益}) \div (\text{営業費用} + \text{営業外費用}) \times 100$

\*2  $\text{医業収益} \div \text{営業費用} \times 100$

(2) 計画的な投資と財源確保

- 建物・設備・医療機器の投資にあたり、投資効果と収支影響を事前に評価し、中期計画に基づく優先順位付けのもと計画的に実施する。
- 将来の設備投資に備え、コスト削減と医療機器等の稼働率向上を進めるとともに、外部資金活用と投資優先順位の明確化により財源確保を図る。

【関連指標（成果指標）】

指 標	参考値 (2024)	目標値 (2026)
自己資本比率*1	29.2%	33.0%以上

\*1  $\text{純資産} \div (\text{負債} + \text{純資産}) \times 100$

第4 予算（人件費の見積もりを含む）、収支計画及び資金計画

1 予算（2026（令和8）年度）

（単位：千円）

区 分	金 額
収 入	
営業収益	4,918,631
医業収益	4,648,154
運営費負担金収益	216,703
その他の営業収益	53,774
営業外収益	69,543
運営費負担金収益	21,897
その他の営業外収益	47,646
資本的収入	498,721
運営費負担金	146,321
長期借入金	352,400
その他の資本的収入	0
その他の収入	0
計	5,486,895
支 出	
営業費用	4,634,853
医業費用	4,451,344
給与費	2,565,488
材料費	1,022,090
経費	856,024
研究研修費	7,742
一般管理費	183,509
営業外費用	65,702
資本的支出	766,833
建設改良費	352,445
償還金	414,388
その他の資本的支出	0
その他の支出	0
計	5,467,388

## 2 収支計画（2026（令和8）年度）

（単位：千円）

区 分	金 額
収益の部	5,068,143
営業収益	4,998,651
医業収益	4,643,551
運営費負担金収益	216,703
補助金等収益	8,174
寄附金収益	0
資産見返運営費負担金戻入	100,895
資産見返補助金等戻入	29,231
資産見返寄附金戻入	97
資産見返物品受贈額戻入	0
営業外収益	69,492
運営費負担金収益	21,897
その他の営業外収益	47,595
臨時利益	0
費用の部	5,068,143
営業費用	5,002,689
医業費用	4,825,342
給与費	2,570,430
材料費	929,174
経費	970,183
減価償却費	346,385
資産減耗費	2,000
研究研修費	7,170
一般管理費	177,347
営業外費用	65,454
臨時損失	0
純利益（又は純損失）	0
目的積立金取崩額	0
総利益（又は総損失）	0

### 3 資金計画（2026（令和8）年度）

（単位：千円）

区 分	金 額
資金収入	5,704,654
業務活動による収入	4,988,174
診療業務による収入	4,648,154
運営費負担金による収入	238,600
その他の業務活動による収入	101,420
投資活動による収入	146,321
運営費負担金による収入	146,321
その他の投資活動による収入	0
財務活動による収入	352,400
長期借入れによる収入	352,400
その他の財務活動による収入	0
前事業年度からの繰越金	217,759
資金支出	5,704,654
業務活動による支出	4,700,212
給与費支出	2,728,941
材料費支出	1,022,090
その他の業務活動による支出	949,181
投資活動による支出	352,445
有形固定資産の取得による支出	352,445
その他の投資活動による支出	0
財務活動による支出	414,731
長期借入金の返済による支出	129,557
移行前地方債償還債務の償還による支出	284,831
その他の財務活動による支出	343
翌事業年度への繰越金	237,266

#### 第5 短期借入金の限度額

1 限度額 1,000 百万円とする。

2 想定される短期借入金の発生理由

予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等、偶発的な出費への対応や賞与の支給等一時的な資金不足への対応を想定している。

## 第6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

なし

## 第7 剰余金の使途

決算において剰余を生じた場合は、病院施設・設備の整備・改修、医療機器等の購入、長期借入金の償還、人材確保事業及び人材育成事業の充実に充てる。

## 第8 地方独立行政法人筑後市立病院の業務運営等に関する規則（平成22年筑後市規則第45号）第6条に定める事項

### 1 施設及び設備に関する計画（2026（令和8）年度）

施設及び設備の内容	予定額（税抜）	財源
病院施設・設備の整備	87百万円	筑後市からの借入金及び自己資金
医療機器の整備・更新	233百万円	筑後市からの借入金及び自己資金

（注）金額については見込みである。

## 第9 その他業務運営に関する重要事項

### 1 今後の検討課題

#### (1) 保健機関との連携

- 市の健康関連会議に参画し助言・協力を行うとともに、関係部署と連携して不登校児健診支援や特定健診の体制整備・フォローを充実させる。
- 各種媒体や健康出前講座を活用し、がん検診・特定健診の受診方法や生活習慣病リスク等の健康情報を発信する。

#### 【関連指標（成果指標）】

指標	参考値（2024）	目標値（2026）
特定健診の前年度未受診者の受診率 <sup>*1</sup>	17.5%	25.0%以上

\*1 前年度に特定健診を受診しなかった筑後市民のうち当年度に特定健診を受診した者の割合

#### (2) 今後の検討課題

- 将来の新興感染症の発生・まん延に備え、市との情報共有や役割分担を強化し、受け入れ体制と連携対応力を高める。
- 病院の将来像の共有と運営の方向性の一致に向けて、市長との意見交換や市関係部署との協議の場を定期的に設ける。

#### 【関連指標（成果指標）】

指標	参考値（2024）	目標値（2026）
市との定例協議	2回	2回以上